

学校給食提供食の放射線量の測定結果

測定方法：ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析

測定時間：2000秒

*給食で実際に児童に提供した給食1食分を約4週間ごとにまとめて測定

検査結果と内部被ばくの実効線量

提供期間 (日数)	合計 重量 (kg)	検査日	測定結果 (Bq/kg)			内部被ばくの実効線量 (μ Sv)	
			放射性 ヨウ素 131	放射性 セシウム 134	放射性 セシウム 137		
第1回	平成31年4月8日～4月26日(15日分)	10.46	4月27日	検出せず<0.68	検出せず<0.77	検出せず<0.80	0~0.1755未満
第2回	令和元年5月7日～5月24日(14日分)	9.24	5月27日	検出せず<0.96	検出せず<0.74	検出せず<0.73	0~0.1632未満
第3回	令和元年5月27日～6月21日(20日分)						
第4回	令和元年6月24日～7月19日(19日分)						
第5回	令和元年8月28日～9月27日(21日分)						
第6回	令和元年9月30日～10月25日(16日分)						
第7回	令和元年10月28日～11月22日(19日分)						
第8回	令和元年11月25日～12月25日(23日分)						
第9回	令和2年1月8日～1月24日(12日分)						
第10回	令和2年1月27日～2月21日(19日分)						
第11回	令和2年2月25日～3月24日(20日分)						
	合計	19.70					0.3387未満

・「<」の横の数値は、検出限界濃度を表しています。検出限界濃度は測定ごとに異なります。

・測定結果から計算されるセシウム134とセシウム137による内部被ばくの実効線量は、「検出せず」の場合、セシウム134と137がそれぞれ検出限界濃度と等量含まれていたと仮定して計算しています。